

第4回安曇野市行政改革推進委員会 会議概要

- 1 審議会名..... 第4回安曇野市行政改革推進委員会...
- 2 日 時..... 令和元年7月1日(月) 午後1時30分から午後3時30分まで
- 3 会 場..... 安曇野市本庁舎3階 共用会議室307...
- 4 出席者..... 那須会長、丸山副会長、望月委員、中山委員、宮崎委員、降旗委員、
藤森委員、増田委員、安田委員、栗原委員
- 5 市側出席者..... 金井総務部長、関総務課長、鷹行政管理係長、飯田副主幹
- 6 公開・非公開の別..... 公開.....
- 7 傍聴人..... 2人..... 記者..... 0人.....
- 8 会議概要作成年月日..... 令和元年7月2日.....

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開会
- (2) 会長あいさつ
- (3) 会議事項
第4次行財政改革大綱の策定についての検討
- (4) その他
今後のスケジュールについて
- (5) 閉会

2 会議概要

「はじめに」について、最後の文章に、K P Iやアウトカムについての追記がほしい。

対応する。

全体的な書き方について、前段があって取り組むべきことがあるという形に統一した方がよい。

文章については統一するよう精査する。

「ア 情報通信技術(I C T)の利活用の推進」について、利用する市民のわかりやすさ、操作の簡便さの向上も図る必要があると考える。

また、「オ 健全財政の堅持」についても、『丁寧でわかりやすい説明』というような文言に修正をお願いしたい。

了解した。

電子化の推進について、スピード感を間違えると市民からの不満が出てくる恐れがあるので、電子化は慎重に進めていただきたいと考える。

「ア 情報通信技術の利活用の推進」に『情報セキュリティの強化、更なる向上』を盛り込んでいただきたい。

また、「イ 事務事業の見直し」についても働き方改革、残業の抑制といった点も盛り込んでいただきたい。

今の意見について、どうやって働き方改革をしていくか、行政としてどういう考え方をしていくかを検討していく必要がある。

「エ 公共施設、道路及び橋梁のマネジメント」について、全ての施設を維持管理していくと本来かけなければいけない部分に予算の配分ができないということになっていくので、この項目には踏み込んだ対応をしていく必要があると考えている。

「イ 事務事業の見直し」について、『改善』と表現されているが『見直し』という表現にしたらどうか。

了解した。

「オ 健全財政の堅持」について、文書の前段に『地方交付税の縮減傾向および税収面の伸び悩みが予想される中』という文言の追記をお願いしたい。

「オ 健全財政の堅持」について、市民の理解を深めるためにも先ほどの行政コストの話を含めて、市だけでなく、市民も一緒に考えていこう形の提言にした方が良い。

「ア 情報通信技術（ICT）の利活用の推進」でインターネットを利用したTV会議システムの導入について、積極的に導入検討していくことも文言に取入れてほしい。

行政コストの要因の一つに労務費がある。行政コストといった面を見たときに職員の給与を下げるという意見があるが、数字の根拠がないと言えないことなので、このラスパイレス指数はしっかりと押さえておく必要がある。

「イ 職員の意識改革」について、後半に職員一人ひとりが改革に向けた意識とPDCAサイクルに基づいた考え方をもって、日常の業務に取り組んでくださいとある。人事制度の中に業績評価とあるが、これは職員一人ひとりが計画を立てて、それを上司が承認するという形で進めているのか。

業績評価については、それぞれの役職に応じ、一年間どんな業務を実施するのかという目標を立てる。例えば部長級なら4つの目標を立てるということになる。そして一年間の目標の達成状況に応じて評価をS、A、B、C、Dの5段階で行う業績評価を採り入れている。その他に能力評価、例えば、法令等を守っているか、時間を守っているかなど一般的な評価の中で、職員を5段階で評価し、その合計が人事評価となり、勤勉手当に反映されることになる。また、昇任、昇格についても人事評価が影響するようになる。

「オ 人口減少抑制の取組み」について、ここに『働く場所の確保』の追記をお願いする。

「イ 多様な担い手との協働の推進」について、『公民館と社会福祉協議会』の追記もお願いする。

具体的に記載するようにする。

区はどちらかと言うと行政の仕事に近い役割を果たしており、区の中の公民館は教育委員会の役割を果たしていて、この会議ではこの部分、生涯学習の部分がいつも抜けている。

この大綱にどうやって入れていくか検討が必要である。

「ア 地域コミュニティの再構築」と「イ 多様な担い手との協働の推進」について、前段の部分が似たような表現になって曖昧になっている印象を受けるので、地域コミュニティの再構築については、「地域コミュニティ活動に積極的に参加する」が核になるので公民館活動に参加するや区に加入するといった具体的なことの記載が必要である。また、多様な担い手との協働の推進については、公募委員等の積極的な登用とNPOとの連携強化の二つのことが核になっているので、公募委員については女性や若手を登用するといった表現を盛り込むことや協働の基本条例を実践するといった具体的なことを記載し、文章の検討をお願いする。

具体的に何をやるかというところを検討する。

「ウ 高齢者の生きがいづくり」について、『高齢者の高い能力を積極的に生かしていく』という記載をお願いします。

「ア 職員の能力向上」については、業務改善能力についての記載をお願いします。

「オ 人口減少抑制の取組み」について、問題になっている幼児の虐待、ひきこもりを改善していかないと、人口も増加しないし、幼い命が失われるということは許されることではないと感じているので、ぜひ記載をお願いします。

この問題は報道でも取り上げられている。また他の自治体でも対策に取り組んでいる事例もあるが安曇野市ではどうなのか。

この問題は福祉で取り組んでいる。特にひきこもりについては、市内にどのくらい的人数がいて、どうすれば社会復帰できるか、地域の協力を得ながら積極的に取り組んでいる。

また、幼児虐待についても高齢者の方の協力を得ながら見守りに取り組んでいると聞いている。

この問題については、個人情報保護という壁でなかなか情報が入ってこない。地域の暖かい声かけが大事になってきているが、その声をかける場所がわからないということが最大の悩みである。できれば赤ちゃんが生まれたときから民生児童委員がおめでとうございますと声をかけて、その家庭に顔出しをして、その後も暖かい会話ができる関係が築ければ良いという願いがあるので、ぜひ盛り込んでほしい。

先ほど発言したとおり、公民館を拠点として、地域にいる高い能力を持った高齢者を活用できれば、いろいろな活動が可能だと考えるので、ぜひ教育委員会の生涯学習課を行政改革に入れるよう考えていただきたい。

区から抜ける方が多くおり、区民でないと公民館のイベント行事などの参加ができない。

今まで出た幼児虐待やひきこもり対策など、市で対応していく問題だと認識しているが、今回は行政改革の大綱をまとめていく場なので、個々の施策については担当している部署での対応になる。もちろん行政改革として必要な部分は取り入れていくが全てを行政改革で対応していくことは厳しいということをお願いします。

そのことは理解しているが今出ているような意見を聞く場所をどこかで作っていく必要があると感じている。

大綱の中に入れずにしる委員会からの付帯意見として、何かしらの記載を検討していきたい。

情報発信だけでなく、情報収集についても記載することをお願いします。

了解した。

「はじめに」について、市民満足度の向上を目指す旨を追記する必要があるので、「全職員が一丸となって行政サービスの質と生産性の向上による市民満足度の向上を目指して取り組む必要がある」に直す必要がある。

また、満足度の部分についても、市役所の職員がどれだけ頑張っているかという点も発信していかなければいけない。

「ウ 地域活動への参加」について、『リーダー的役割も担ってください』という表現を加えていただきたい。

「ア 職員の能力向上」について、専任的な職員を配置して事業の継続性が失われないようにしてほしい。

人事異動に際しては業務をしっかり引継ぐよう上司を交えて引継ぎを行っている。

この委員会に子育て世代の方が参加することがあってもよいと思う。

多様な方から意見を聞くことは重要なので次の改選の時に検討させていただく。

以上